■「学校新聞づくりコンクール」に関するＱ＆Ａ （これまでに寄せられた質問など）

Ｑ　小規模校で、全校で１つの新聞作品を作った場合、どの部門に応募したらよいか。
→作成に関わった最高学年が該当する部門へ応募してください。

Ｑ　発達段階に差があるので、１年生が不利ではないか。
→下学年が不利にならないよう、学習指導要領を参考に、発達段階に応じて審査します。
　他の作品との比較ではなく、その学年の作品としてどうなのかという視点で審査していきます。

Ｑ　新聞の様式をダウンロードして印刷したが、マス目等の印字が薄い。もっと濃くならないか。
→印字を濃くしたい場合は、パソコンの印刷設定の中で調整することができます。児童生徒の実態に応じて、マス目の濃さを調整して使用してください。
　なお、そのまま印刷するとマス目が薄く印字されるのは、「あえて」そうしています。マス目があまりにも濃く出過ぎると、イラストを描くにあたって邪魔になったり、マス目に文字を入れることにこだわり過ぎてしまい、自由な発想の構成（レイアウト）を邪魔するのではないかと懸念したからです。
　強調したい言葉がある場合や児童生徒の発達段階によっては、１つの文字を複数のマス目を使って書いたり、段落の途中に挿絵や写真、グラフ等の資料を差し込んだりするなど、マス目にこだわりすぎることなく、読み手に伝えるための工夫をしてください。
　イラストなど、マス目が邪魔になるものは別紙に描いて、切り取って貼り付けていただいてもかまいません。

Ｑ　パソコンで制作した新聞も応募してもいいか。
→児童生徒が入力・レイアウトして制作したものであれば、かまいません。

Ｑ　新聞の様式を横向きにして使いたいが、縦向きしか駄目か。記事の横書きは可能か。
→横向き、横書きなど、いずれも大丈夫です。

Ｑ　手分けして切り貼りした新聞のため、原本は見た目が悪く、カラーコピーで応募したい。
→カラーコピーでもかまいません。作品は返却しませんので、原本を手元に残したい際などにもご利用ください。

Ｑ　制作した新聞をラミネートしたが、このままでも応募できるか。
→そのまま応募していただいてかまいません。

Q　（授業での取り組みではなく）生徒会や委員会で取り組んだ新聞で応募したい。

→２０２０年度より募集対象に加えました。児童生徒の作品であれば応募していただけます。
　その際、学校応募票で記入できない部分については、空欄でかまいません。

Q　従来は２次審査（コンクール大会）でプレゼンテーションしていたが、２０２０年度以降は。

→２０２０年度コンクールから２次審査は廃止し、基本的に応募された新聞のみの評価となります。
　また、従来の教育長賞、高知新聞社長賞も廃止し、部門の中で金賞、銀賞を選考する形とします。

※このほか、不明点がありましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先
高知新聞社　教育･地域事業室　読もっかNIE編集部
TEL:088－825－4081　FAX:088－825－4036
メール:nie1378@kochinews.co.jp
担当:高本･岡林